

平成28年 4月 8日
航空局 安全部
運航安全課乗員政策室

「航空機操縦士養成連絡協議会」における平成27年度の検討結果

「航空機操縦士養成連絡協議会」において、我が国の操縦士の養成・確保に向けた諸課題についての検討が行われ①学費負担軽減WG、②技量向上WG、③裾野拡大WGにおいて、平成27年度の検討結果をとりまとめましたので、公表します。平成27年度は、引き続き奨学金創設に係る検討、裾野拡大のための共通ウェブサイト「skyworks」の開設等を行いました。

1. 背景

航空需要の増大等により、将来的に操縦士の人材不足が懸念されております。操縦士不足が航空ネットワーク充実のボトルネックとならないよう、操縦士を養成・確保するため、平成26年8月に国土交通省との協力の下、航空会社、民間養成機関等から構成される「航空機操縦士養成連絡協議会」（以下「協議会」）が設置され、平成26年度に引き続き、平成27年度においても我が国の操縦士の養成・確保に向けた諸課題についての検討が行われました。

2. 検討結果

協議会の下に設置された学費負担軽減ワーキンググループ（以下、「WG」）、技量向上WG、裾野拡大WGにおいて操縦士の養成・確保に関する諸課題について検討した結果、以下の内容がとりまとめられました。

① 学費負担軽減WG

- ・奨学金の原資について、「航空業界が最大限努力した上で、広く一般社会にも協力を求める」という方針の下、先ず全ての航空会社が一致して最大限努力。
- ・運営主体の管理運営について、奨学金の原資とは別に、航空会社や民間養成機関が共に費用や人的リソースの提供により協力。
- ・奨学生の奨学金返済不能時における債務保証について、民間養成機関は、推薦した奨学生の返済不能時においても奨学金の原資に影響が及ぶことのないよう、債務保証等について協力。

②技量向上WG

- ・民間養成機関の教官による（独）航空大学校の訓練へのオブザーブを実施。
- ・民間養成機関を修了し航空会社に就職した操縦士の訓練等において見受けられる操縦技量上の改善点等について、航空会社から民間養成機関にフィードバックすることにより、民間養成機関における操縦訓練の質の向上及び航空会社のニーズに応じた養成を実現するべく、操縦技量等フィードバック会議（仮称）を平成28年度に設置。

③裾野拡大WG

- ・共通ウェブサイト「skyworks」を開設。
- ・女性人材の増加に向け、女性を対象とした現役の女性操縦士、女性整備士及び女性製造技術者による講演会を開催。
- ・子ども霞が関見学デーへの協力。
- ・ヘリコプター部会の下に設置された裾野拡大WGと今後連携。

※1 詳しくは別紙1「各ワーキンググループとりまとめ概要」参照

※2 とりまとめの本文等は、共通ウェブサイト「skyworks」参照

<https://www.skyworks.info/>

3. 今後の取組

平成28年度も協議会（必要に応じ各WG）を継続し、諸課題に対する具体的解決策の検討や取組が行われます。

（参考資料）

別紙1 各ワーキンググループとりまとめ概要

別紙2 協議会の概要

以上

（お問い合わせ）

航空局 安全部 運航安全課 乗員政策室

担当：山田・田中

電話：03-5253-8111（内線50305）

03-5253-8738（直通）

FAX：03-5253-1661